

交渉の議事要旨

課所等名	開催日時	開催場所	出席者		議題	発言概要	配付された 文書等
			当局側	職員団体側			
総務課 地域振興対策室 広報官	平成23年10月20日(木) 17:20~17:29(9分)	函館開発建設部 2階会議室	函館開発建設部 総務課長補佐 河瀬 政彦 地域振興対策室長 村越 慶次 広報官 中村 悟	全開発函館支部総務・地域・ 広報分会 執行委員長 平井 一規 書記長 小林 聡之 執行委員 寺島 裕太	当課(室)における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務を縮減するため、今後も一層業務の効率化を図るとともに、職員の健康にも十分配慮してもらいたい。 ○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減など、超過勤務の縮減に努めてきたところであり、今後も業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、この点に十分配慮していきたい。	なし
経 理 課	平成23年8月9日(火) 8:45~8:50(5分)	函館開発建設部 2階第1会議室	函館開発建設部 経理課長 斎藤 優子 経理課長補佐 横山 直己	全開発函館支部経理課分会 執行委員長 花巻 俊平 副委員長 小林 誠	当課における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務の縮減については、管理職と我々が協力していかなければならないと思っている。これからも、目配り、気配りを行い、業務の進行管理を行ってほしい。 ○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、縮減に努めてきたところである。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし
技術管理課・施設整備課・防災対策官	平成23年8月19日(金) 16:00~16:37(37分)	函館開発建設部 5階会議室	函館開発建設部 技術管理課長 宮部 秀一 施設整備課長 檜森 良一 防災対策官 内海 清明	全開発函館支部技術管理・施設整備課分会 執行委員長 佐々木 敏浩 副委員長 江本 貢 書記長 仙北 孝弥	当課(室)における超過勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務の縮減については、当局の責任において、引き続き、努力されたい。 ○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし

交渉の議事要旨

課所等名	開催日時	開催場所	出席者		議題	発言概要	配付された 文書等
			当局側	職員団体側			
用地課	平成23年8月22日(月) 13:30~14:10(40分)	函館開発建設部 4階会議室	函館開発建設部 用地課長 高橋 栄一	全開発函館支部用地課分会 執行委員長 七尾 彰悟 副委員長 本間 健一 書記長 能登 誠	当課における超過勤務の 縮減について	<p>○職員団体側から 超過勤務を縮減するため、各スタッフの業務状況に目配りして進行管理の徹底を図ってもらいたい。</p> <p>○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。</p>	なし
公物管理課	平成23年9月14日(水) 9:00~9:13(13分)	函館開発建設部 4階会議室	函館開発建設部 公物管理課長 新妻 憲嗣	全開発函館支部管理課分会 執行委員長 羽生 秀樹 副委員長 川嶋 唯 書記長 西川 尚彦	当課における超過勤務の 縮減について	<p>○職員団体側から 当課においては、一部のスタッフの超過勤務が多いと考えているので、業務の平準化に努め、超過勤務の縮減を図ってもらいたい。</p> <p>○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、適切な業務の進行管理や業務運営の簡素・効率化を図っているが、一部のスタッフの超過勤務が多いのは認識している。 引き続き、きめ細かな業務の進行管理に努め、職員に過度の負担が掛からないよう配慮するとともに、スタッフとのコミュニケーションを図り、超過勤務の縮減に努めていきたい。</p>	なし
道路計画課 工務課	平成23年10月27日(木) 17:30~18:00(30分)	函館開発建設部 4階会議室	函館開発建設部 工務課長 早坂 保則	全開発函館支部道路・工務課 分会 執行委員長 小澤 徹 副委員長 山口 聖恵 書記長 渡部 和彦	当課における超過勤務の 縮減について	<p>○職員団体側から 超過勤務を縮減するため、各スタッフの業務状況に目配りして進行管理の徹底を図ってもらいたい。</p> <p>○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減など、超過勤務の縮減に努めてきたところである。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。</p>	なし

交渉の議事要旨

課所等名	開催日時	開催場所	出席者		議題	発言概要	配付された 文書等
			当局側	職員団体側			
今金河川事務所	平成23年10月27日(木) 17:45~18:00(15分)	今金河川事務所 2階会議室	今金河川事務所 所長 羽山 英人 総務課長 生駒 勝範	全開発函館支部今金河川分 会 執行委員長 出崎 幸嗣 副委員長 花山 知志 書記長 大関 悟	当事務所における超過 勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務の縮減については、管理職と我々が協力していかなければならないと思っている。これからも、目配り、気配りを行い、業務の進行管理を行ってほしい。 ○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減、定時退庁日における定時退庁の励行など、縮減に努めてきたところである。また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、今後とも、この点に十分配慮するとともに、業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。	なし
江差道路事務所	平成23年10月12日(水) 16:45~17:00(15分)	江差道路事務所 1階会議室	江差道路事務所 所長 草開 良規 総務課長 小鹿 隆則	全開発函館支部江差道路分 会 執行委員長 松原 泰弘 副委員長 北村 豊 書記長 加藤 博文	当事務所における超過 勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務を縮減するため、今後も一層業務の効率化を図るとともに、職員の健康にも十分配慮してほしい。 ○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減など、超過勤務の縮減に努めてきたところであり、今後も業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、この点に十分配慮していきたい。	なし
函館港湾事務所	平成23年8月23日(火) 13:15~13:30(15分)	函館港湾事務所 1階会議室	函館港湾事務所 所長 矢本 欽也 副所長(専) 森 秀明 総務課長 上原 浩司	全開発函館支部函館港分 会 執行委員長 桑原 弘子 書記長 小川 渉	当事務所における超過 勤務の縮減について	○職員団体側から 超過勤務を縮減するため、業務の平準化に努めていただきたい。また、職員の健康管理についても配慮願いたい。 ○当局側から 超過勤務については、職場の超過勤務の実態等を踏まえ、業務運営の一層の簡素・効率化を図り、業務の円滑な進行管理を行うとともに、週休日及び休日出勤の縮減など、超過勤務の縮減に努めてきたところであり、今後も業務の平準化を図るなど、きめ細かな業務の進行管理を行い、超過勤務の縮減に努めていきたい。 また、超過勤務を命ずる場合には、職員の健康を害しないように考慮しているところであり、この点に十分配慮していきたい。	なし